

-ース**★アクション**

でアクション!!ケアこそ未来を切り拓く https://kirarikango.com/

調査を背景に、行政等との粘り強い懇談が重要

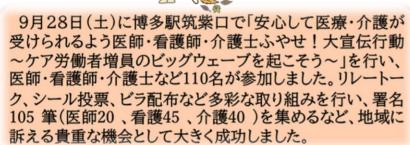
引き続き各地でナースアクションが取り組まれています

奈良



医師・看護師の増員を求める奈良県実行委員会は、2007年から毎年行っ ている「看護職員の労働・健康実態調査」のまとめの説明と、看護職養成 校の状況や、実際の看護現場のリアルな様子をお伝えし、県の予算編成に 反映させるため、県知事あての要請書を提出しました。奈良では医労連は じめ県下に幅広く呼び掛けて要請を繰り返しており、今回は県内13% (2,185名)の看護職員が調査に回答しています。結果、2012年からの13年間 の調査の中でも状況が厳しくなって(いつも辞めたいと思っている21.9% 等) いることが分かりました。

今回の懇談は、行政が「お聞きしました」で終わるのではなく、90分間 にわたって調査内容や現場の声に耳を傾けていただき、①「奈良県看護師 がいきいきと働きつづけられるための実効策検討委員会」は継続し、困難 は予測されるが、奈良県の看護師がいきいきと働きつづけられるためには 出された提言を実現させていくことが必要。②看護師をめざす人が少子化 の影響以上に減っている。その中で看護体験は必要。③専修学校はより厳 しい。物価高騰もふまえ運営費補助は増額を検討中。④訪看のハラスメン ト対策では、防犯ブザー(事業所への通報機能付き)補助など、なんらか の具体策は必要など、認識の共有、実現するための意見交換としては「少 し」進んだという感触があります。実態を可視化し、繰り返し現場の様子 を伝えていくことは、とても大切であると実感する懇談となりました。







和歌山



「高等教育無償化を求める請願署名」に引き続 き取り組んでいます。組合職員活動交流集会と生 協まつり、介護の日「11月11日」行動で市民 にアピールしました。「学費ほんまに高いな―」 「がんばれよ」と応援の声もたくさんいただき、 これからも引き続き取り組んでいきます

和歌山生協病院看護部長 林





「2024年全国看護学生アンケート調 査の結果」の説明や高等教育無償化 に向けて大阪府看護協会との懇談が 実現しました。弘川会長からは「今 日は現場の実態、学生の声を聞かせ ていただきよかった。こういった調 査をしていることは知らなかった。 (無償化について)様々な団体がそれ ぞれのやり方で取り組みを進めてい ると思うが、現場の声を聞きながら 看護協会としても同じ目標を持って いけたらと思う。こちらの会議でも 引き続き議論していきたい。」と、 初めて聞く話もあったようで時折驚 かれていた表情が印象的でした。